

乳腺外科  
Breast Surgery

## 京大乳腺外科学教室の紹介

乳癌患者数の著しい増加、乳癌治療の個別化・多様化などを背景に、平成19年2月に外科学講座の基幹分野として発足しました。2024年4月 増田教授が着任され、新しい展開を目指します。



**主な対象疾患**

乳癌、乳房良性疾患、その他乳房原発腫瘍

**メンバー構成**

スタッフ（教官） 6名

キャリア支援医、医員、専攻医 4名（2024年4月現在）

## 京大乳腺外科学教室での専門研修

- 外科専門医研修と連動し、乳腺外科専門医研修カリキュラムに沿った研修計画を提供します。  
卒後7年目での乳腺外科専門医の取得を目指します。

### 乳腺外科専門研修とキャリアプランの一例



Q. 京大病院では、どのくらいの経験が積めますか？  
また、京大病院以外にどのような病院で勤務できますか？

A. 乳腺外科専門医取得に必要な症例数（乳癌手術100例等）を最低限の目標とし、診断から治療、緩和ケアまで一貫した豊富な研修・研鑽の機会を提供します。  
都市部だけでなく地域の基幹病院と連携しており、医師として幅広い経験ができる環境を提供します。

#### 京大病院の研修連携施設（2023年4月）

- ・京都市立病院
- ・三菱京都病院
- ・京都桂病院
- ・京都民医連中央病院
- ・京都医療センター
- ・足立乳腺クリニック
- ・滋賀県立総合病院（滋賀県）
- ・大津赤十字病院（滋賀県）
- ・天理よろづ相談所病院（奈良県）
- ・奈良県立総合医療センター（奈良県）
- ・大和高田市立病院（奈良県）
- ・福井赤十字病院（福井県）
- ・倉敷中央病院（岡山県）
- ・島根県立中央病院（島根県）
- ・静岡市立静岡病院（静岡県）

参考)

2022年度京大病院手術実績（NCD）

全手術症例数(NCD登録)	314例
乳房悪性腫瘍手術	129例



## Q. 男女比はどれくらい？

- A. 2021-2024年度では男性1名、女性11名が研修しています。女性医師が多いですが、性別などに関係なく、一人一人に合わせた就業・キャリア形成ができるよう連携施設とともに取り組んでいます。

## Q. 京大病院ならではの研修の特徴は何でしょうか？

- A. 専門カンファレンスなどを通じて、様々な分野のエキスパートからトレーニングやフィードバックを受ける機会があります。

### 京大病院での専門カンファレンスの例

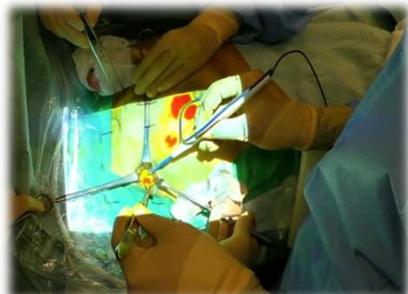
- ・ 乳癌ユニットカンファレンス
- ・ 乳房再建カンファ（形成外科）
- ・ 病理・画像診断カンファレンス（病理診断科、放射線診断科）
- ・ 骨転移ユニットカンファレンス（整形外科、放射線治療科）
- ・ HBOCサブユニット（遺伝子診療部、産婦人科、泌尿器科等）
- ・ Cardio-oncologyカンファレンス（腫瘍内科、循環器内科等）
- ・ irAEユニットカンファレンス（免疫内科、各内科、腫瘍関連科等）

その他に…

海外のエキスパートを招いた国際会議（KBCCC：京都乳癌コンセンサス会議）を定期的に行っています。

## Q. 京大病院ならではの研修の特徴は何でしょうか？

A. 最先端の画像診断装置や手術手技に触れることができます。  
また、企業治験や臨床試験の経験も多く積むことができます。



プロジェクションマッピングによる  
蛍光ガイド下リンパ節生検



圧迫グローブによる化学療法  
誘発性末梢神経障害の予防



乳房専用PETを用いた画像診断

その他…

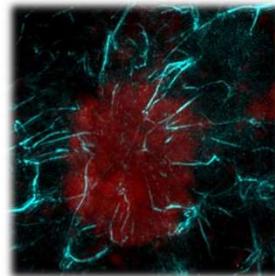
カダバー（ご献体）を用いた  
乳がん手術手技トレーニングなども  
実施しています。（年一回）

## 専門研修終了後の進路（大学院等）

- ・ 専門研修終了後は大学院に進学することで、研究活動のみならず臨床の場でも重要となる、科学的思考について学びを深めることができます。
- ・ 培養細胞や実験動物を用いた癌の基礎研究、血液や癌の組織を用いた癌の臨床研究、新規医療機器開発、機械学習などを応用した診断アルゴリズム開発など、多彩なテーマで研究に取り組むことができます。2023には西村先生の研究がNatureに掲載されました！
- ・ 希望者には、海外留学・短期海外研修などの機会もあります。



実験室の様子



光音響画像による  
腫瘍血管のイメージング



乳がん発生の進化の歴史  
を解明

## 京大乳腺外科学教室が目指すもの

- ・ グローバルに活躍し、国内外の乳癌診療をリードできる豊富な知識と確かな経験を有する専門医の育成。
- ・ 患者のライフステージや多様なニーズ、生活背景・地域特性などにきめ細かく対応した全人的医療の提供。
- ・ 診断・治療法に革新をもたらす独創的な研究活動の実践。

見学希望、研修に関する質問など  
下記までお気軽にお問い合わせ下さい

Tel: 075-751-3660

E-mail: [nyusen@kuhp.kyoto-u.ac.jp](mailto:nyusen@kuhp.kyoto-u.ac.jp)

HP: <http://www.brca.jp/>



私たちと一緒に新しい時代を築きませんか？

